

「『こんにちは県議会です』大学生との意見交換会」開催概要

- 1 開催日時 令和7年2月10日（月）午後1時30分～午後3時30分
- 2 開催場所 県庁議会棟ほか（オンラインによる開催）
- 3 出席者
＜参加学生＞
○信州大学2名、長野県立大学9名、松本大学1名、飯田短期大学2名、
三條市立大学1名 計15名
○山岸 喜昭議長、続木 幹夫副議長
○広報委員 寺沢 功希議員、林 和明議員、グレート無茶議員、勝野 智行議員、
藤岡 義英議員
- 4 開催内容 意見交換・懇談、意見・感想等の発表
- 5 意見交換会テーマ
＜Aグループ＞
「教育の課題について」、「若者の県外流出について」

＜Bグループ＞
「公共交通について」、「魅力ある県づくりについて」、「フリートーク」

＜Cグループ＞
「働き方について」、「若者の県外流出について」、「ずっと住みたい長野県にするために必要なこと」



○開会

(司会：続木副議長)

定刻となりましたので、ただ今から、「『こんにちは県議会です』大学生との意見交換会」を開会いたします。

私は、本日の司会を務めます、長野県議会副議長、広報委員会委員長の続木幹夫でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○長野県議会議長あいさつ・県政報告

(続木副議長)

それでは、長野県議会を代表いたしまして、山岸喜昭議長から挨拶及び県政報告を申し上げます。

山岸議長、よろしくお願いいたします。

(山岸議長)

こんにちは。長野県議会議長の山岸喜昭でございます。

本日は、「こんにちは県議会です」を開催しましたところ、県内外の大学・短大から多くの皆様に御参加いただき、誠にありがとうございます。

私たち長野県下の23選挙区から選出された議員で構成する県議会には、県民の皆さんの思いや考えを県政に反映させたり、県政の適正な執行を監視するという役割があります。

本日は、長野県にゆかりのある、若い皆さんが日々、学びや生活の中で感じていること、考えていることなどについて、率直な意見交換ができればと、参加議員一同、大変楽しみにしております。

ここで、意見交換に先立ち、せっかくの機会ですので、少し時間をいただきまして、県議会の活動の事例を二つ、御紹介したいと思います。

初めに、県議会と県内大学との包括連携協定についてであります。

県議会と長野県内の大学や短期大学とが、一緒になって地域課題の解決や魅力ある地域づくり、人材の育成を進めることを目的として、連携協定を締結しています。

これまで、8大学・3短期大学と締結しており、今後も、大学や短期大学の皆さんと協力しながら、その目的に沿った取組を進めていきたいと考えております。

次に、議会の発案による条例制定の取組を紹介します。

最近では、令和3年度に、本県の将来を左右する重要な課題である少子化・人口減少に対応するため、「県民の希望をかなえる少子化対策の推進に関する条例」を、令和4年度は、本県の魅力の一つである素晴らしい伝統的工芸品をしっかりと次の世代に引き継いでいくため、「長野県の美しい伝統的工芸品を未来につなぐ条例」を制定したところでございます。

そして、現在、林業や木材産業の発展や、脱炭素社会の実現などに向けて、信州の森で育まれた県産

の木材のさらなる利用促進を図るための条例を制定しようと、検討を進めています。

このように、県議会は、県政の重要な課題に対して、議員提案により条例を制定するなど、知事と協力して、その課題の解決に向けて積極的に取り組んでおります。

参加者の皆さんには、本日の意見交換会を契機に、一層、県議会や県政への関心を深めていただき、「自分自身が長野県づくりに参加する」という気持ちを持っていただくことを期待しております。

本日は、どうぞよろしく願いをいたします。

○出席議員自己紹介

(続木副議長)

それでは、本日の出席議員から自己紹介をいたします。では、順次、私から指名しますので、お願いいたします。

長野県議会広報委員会副委員長の寺沢功希議員お願いいたします。

(寺沢議員)

安曇野市選出、広報委員会副委員長の寺沢功希です。本日は大変お世話になります。よろしくお願いいたします。

(続木副議長)

広報委員の林和明議員お願いいたします。

(林議員)

上田市小県郡区選出の林和明と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(続木副議長)

グレート無茶議員お願いいたします。

(グレート無茶議員)

長野市上水内郡区選出のグレート無茶でございます。よろしくお願いいたします。

(続木副議長)

勝野智行議員お願いいたします。

(勝野議員)

松本市東筑摩郡区選出の勝野智行と言います。どうぞよろしくお願いいたします。

(続木副議長)

藤岡義英議員よろしくお願いいたします。

(藤岡議員)

私は、佐久市北佐久郡区選出の藤岡義英です。本日はよろしくお願いいたします。

(続木副議長)

出席議員の紹介は以上であります。

今回参加いただいた学生の皆様につきましては、恐れ入りますが、先日、メールにより配付いたしました名簿により御紹介に代えさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○進行方法の説明

(続木副議長)

では、意見交換の進行方法について御説明します。

これから3つのグループに分かれて意見交換を行います。グループでの意見交換の時間は、80分を予定しております。進行は各グループの議員が行いますので、御協力をお願いいたします。

最初の70分間は、グループごとに学生の皆さんから出された2つのテーマについて意見交換をお願いいたします。1つのテーマを35分程度で進めていただければと思います。残り10分になりましたら、議論の状況をみながら、進行がまとめに入ります。残り時間は画面右上に表示されますので、参考としてください。

意見交換の後、各グループで出た意見等について学生の代表から発表していただくとともに、進行役以外の議員からも、一言感想を述べていただきます。この発表時間は、学生、議員合わせて6分程度でお願いします。グループごとの発表が終了しましたら、最後に全体での意見交換を行います。

意見交換の進行についての説明は以上です。

なお、本日実施した内容については、録音、録画させていただき、概要を文書で取りまとめ、写真等とともに後日、長野県議会のホームページに掲載するなど、議会広報に活用させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、オンラインということで、万全の準備をしておりますが、場合によって御不便をおかけすることがあるかもしれませんが、皆様の御理解と御協力をお願いします。

それでは、意見交換を始めます。事務局でグループ分けを行ってください。

○意見交換・懇談（A～Cの3グループに分かれて 80分）

○意見・感想等の発表

（続木副議長）

グループディスカッション、お疲れ様でした。

それでは、各グループごとに6分程度で、発表担当の学生さんと議員から意見交換の内容、感想を発表してください。

それでは、Aグループから、発表担当の学生さんをお願いします。

（Aグループ学生）

私たちのグループでは、主に二つのテーマについて扱いました。

一つは、教育の課題についてです。もう一つは、若者の県外流出についてになります。

まず、教育の課題について出てきた議題の一つが学費が高いと感じるという話でした。学生の中でも意見交換をしながら、学費に十分見合ったサービスを受けているという意見も出ましたし、大学には授業以外に行くことがないので授業料が高いなど、人によって感じ方が違うということが分かりました。

議員さんから、長野県で財源を用意するのが難しいという話をいただきました。一方で、長野県では、県内の企業と連携した奨学金などを推奨しているということで、そういったところで県が協力できることがあるかもしれないというお話でした。

教育についてはもう二つお話がありました。一つが、小中学校における不登校児童生徒の増加です。実際にデータとしてあるのは、長野県の小中学生の不登校児童は多いということです。ランキングでいうと、1,000人当たりの小中学校の不登校人数が全国でワースト3位になっているようです。私も今回初めて知って驚きました。前年に比べて全体で1,000人くらい不登校が増えているのが実態としてあります。文部科学省の調査によると、不登校の原因としては、生徒の無気力や人間関係のトラブルが挙げられているようです。

それに対して、どういった対応ができるかという点、学生の中で出た意見では、そもそも不登校児があまり身近にいなかったからイメージしづらいけど、何かしら周りがサポートする必要があるのではないかという意見が出ました。

議員の方からは、まず、不登校は良くないものだというイメージは県として持っていないということでした。むしろ、学び方を増やすということで、フリースクールを増やすなど県としてやっていきたいというお話がありました。

コミュニケーションの不足や、他の対応としては、例えば長野市では、訪問指導といって実際に家に指導員が行って指導するというのをやっているのだから、そういった手があるのではないかということでした。

もう一つは、高校教員の働き方改革というテーマです。このテーマをより細かく言うと長野県内で部活動で教員による生徒の会場までの送迎が実際に起きているという話でした。教員による生徒の送迎を県として禁止していただきたいというテーマです。これについては、県内でそういう事例があります。長野県で教員として働くうえで、生徒を自分の車に乗せることに不安を感じる。また、生徒の安全を確保するという面からも、教員が送迎するのではなく、公共交通機関を利用して、生徒が自力で会場まで行くほうがいいのではないかということで議論しました。

グループ内で議論する中で、やはり、長野県内で高校の先生に大会の会場まで送ってもらった人もいました。実態としてあるということが分かりました。

これに対して、議員の方からは、初めて聞いて、驚いたというような感想をいただきました。

そして、一つの手としては、長野県の教育委員会に実態を調査してもらって、何か対策を講じていく手があるのかなとおっしゃっていただきました。

また、山岸議長から、今後も議題として扱っていきたいというような言葉をいただきましたので、非常にうれしく思います。

そして、若者の県外流出ということで、県内での大学の選択肢が少ないということが議題として挙がりました。周りは大学進学の間で、県外に行く人が多いという話がありまして、どうにかならないかということでした。

議員の方から、これは県内において最重要課題だという言葉をいただきました。先ほどの繰り返しになりますが、奨学金の支援というところで、何とか若者や女性に選んでもらえる県になるために、魅力を発信していくことを県としてやっていかなければならないという回答をいただきました。

最後に、完全に議論ができなかったのですが、女性のキャリアアップについてということで、女性の雇用についての心配の声もあがりました。

Aグループは以上です。

(続木副議長)

ありがとうございました。次に、勝野議員お願いいたします。

(勝野議員)

今、学生さんの方からもお話をいただきました。感想ですが、新たな県としての課題を承ったと思っております。今後も、大学生の皆さんからいろんな意見をいただく機会があればうれしいと思います。

またよろしく申し上げます。ありがとうございました。

(続木副議長)

ありがとうございました。それでは、Bグループの発表担当の学生さんお願いいたします。

(Bグループ学生)

私たちのグループでは、公共交通についてと、魅力ある県づくりということで主に若者の県外流出、特に就職などに関して県内に戻ってこないといった問題について共有しました。

まず一つ目の公共交通についてですが、県内でデマンドバスなどの運行に移行しつつある中で、デマンドバスは高齢者など福祉の面が強い一方で、若者に対するニーズには合っていないのではないかとということで意見を共有しました。また、現在、市町村ごとの運行形態になっていることから、市町村をまたいだ需要などにアプローチできていないという問題があるため、広域地域での公共交通を整備していくことが必要ではないかという話になりました。

また、学生から電車の本数が少ないなどの現状の不満点、課題点が挙げられました。その一方で、電車やバスなどの公共交通を充実するためにはコストといった問題があるという話がありました。その解決策として、例えば企業などと連携して、通勤などの定期利用者を増やす案が出てきました。また、大学の多くは自家用車で通学を禁止しているところがあるようです。禁止というムチの制度に加えて、アメとなるような制度が必要ではないかという話がありました。このほか、より利便性を高めるためにキャッシュレス化という問題についても意見を共有しました。

次に、魅力ある県づくりについてということで、よく長野県出身者の中で、一旦県外に出て、将来的には長野県に戻って来たいという話があるようですけれども、それを若いうちから増やしていけないかということで、なぜ県外に出ていくのか意見を共有しました。

また、長野県に戻ってくる、残りたいと思ってもらうためには、郷土への愛着も必要なのではないかということで、これまでに郷土教育があったかどうかということも共有しました。

自分たちの住んでいる市内では、フィールドワークなどを通して郷土を理解する授業があったのに対し、県内全域に目を向けるとそこまで状況を知らないという意見が出ました。

また、卒業後県外に出たいかどうか、特に県外に出ていく女性が多いというような話がありましたが、私たちのグループの女性は地元に残っていききたいという話でした。

手短になりますが、以上で発表を終わらせていただきます。

(続木副議長)

ありがとうございました。Bグループについては私、続木から発表させていただきます。

学生さんからいろいろ発表していただいたとおりですけれども、特に示唆に富んでいたと思うのは、自宅から駅、駅を降りてから目的地までのつながが悪い。それから、本数が少ないということで、公共交通が不便だということでした。

その中でも、デマンドバスは高齢者に対する配慮が主で、若者のニーズに合っていないということで、具体的には運行しているのが平日のみで、休日はやっていない。それから、時間帯が通学には使えないということです。

それから、JR東日本ではSuicaが使えるようになったが、長野県にはJR東海も通っていて、Suicaは共通のキャッシュレスとしては使えないので、ICの付いたプリペイドカードを使えるようにしてほしいという意見に非常に感心いたしました。

もう一つの、魅力ある長野県にするにはというテーマは、長野県に残ってもらうためにはどのようなテーマになりました。どうして大学卒業後に、特に女性が出ていくかという点については、いろんな調査で発表されているが、県内には働き甲斐がある職場がなかなかない、賃金が安いというのが主な理由で県外に出ていく方が多いという発言がありました。

それから、大学を卒業する段階で、長野県に残るのか県外に出ていくのか決まるのではなく、実は高校の段階である程度決めていくと。高校の段階で、長野県の魅力を発見していくような教育が必要ではないかというような意見が出ました。

最後のフリートークで、前名古屋市長と愛知県知事は非常に個性豊かでメディアに出ているが、長野県の知事はあまりメディアに出ないと。もっと知事がメディアに積極的に出るようなれば、長野県に興味を持ってくれる方が増えるのではないかという意見がありました。

それから、今問題になっているSNSについて、選挙公報など、公平公正なものを選挙管理委員会がSNSで発信すべきではないかという意見がありました。

以上です。

では、次に、Cグループの発表担当の学生さんをお願いします。

(Cグループ学生)

Cグループでは、学生の働き方と若者の県外流出について意見を交換しました。

学生の働き方については、アルバイトと勉強の両立が難しいという意見があり、特に教科書代が高いという意見が多く、支援策を考えました。教科書代の支援や、長野県立大学は海外プログラムがあり、費用がかかるので、パスポートの取得費用を県で補助するというような制度の話が議員さんからありました。

二つ目の若者の県外流出については、特に女性が働きやすい環境づくりについてということで、子育てと仕事の両立であったり、男性と女性の賃金格差について意見交換をしました。

また、長野県で進学と就職を選んだ理由などの意見を交換しました。

以上です。

(続木副議長)

ありがとうございました。次に林議員をお願いします。

(林議員)

今、学生さんにおっしゃっていただいたんですが、最低賃金であったり、学生の生活の状況について、

実際にお聴きしまして、学生としてアルバイトは社会経験という意味はあるが、学生の本分である学業に専念していきたいというところで御意見をいただきました。具体的には、県内で学校に通うための交通手段が車になってくるということで、ガソリン高への対策について意見をいただきました。

また、先ほどもお話がありましたが、たくさんのテキストが必要になっており、そういった部分で補助制度がどうかという御意見をいただいております。食費や光熱水費といった生活に係る部分で、県政としてどういったことが必要かというところの御意見もいただいております。

若者の県外流出ということで、もう一つテーマ設定をしました。長野県は自然豊かな所で人も優しい人が多いという御意見をいただきましたが、公共交通機関や、若者が魅力に感じるお店が長野県にないということで、企業誘致の御意見をいただきました。他県にあって長野県にないものを一つでも減らし、いけるように働きかけを考えていきたいと思いました。

以上となります。

(続木副議長)

ありがとうございました。活発な意見交換ありがとうございました。

○議長所感

(続木副議長)

最後に、山岸議長から、今回の意見交換を踏まえての感想とお礼の御挨拶を申し上げます。

山岸議長、お願いします。

(山岸議長)

本日は、限られた時間の中、活発な意見交換ができたことに感謝申し上げます。まだまだ発言されたことがあるかと思いますが、皆さんの様々な思いや考えを聞くことができ、大変有意義な時間だったと思います。

私が参加したグループでは、「教育の課題について」、「若者の県外流出について」をテーマに意見交換をしましたが、これはまさに、県議会としても最優先に考えていかなくてはならないテーマの一つであります。私たち議員も、日々その対応策を考えていますが、本日、若い皆さんの本音や生の声をお聞きする中で、いくつもの新しい「気づき」や、今すぐに検討すべきことなどヒントをいただくことができました。

私たち議員は、どうすれば多くの皆さんに長野県に住みたい、また、ずっと住み続けたいと思ってもらえるような魅力的な長野県、そして、若者や女性から選ばれる長野県にしておくことができるかについて、日々考えて行動していますけれども、本日、これからの長野県の将来を担う皆さんからいただいたお考え、御意見をしっかり受け止め、大いに参考にさせていただき、今後の議会活動に活かしてまいりたいと考えております。

皆さんには本日をきっかけとして、県議会、県政に一層関心を持っていただくことを御期待するとともに、前途有望な皆さんのこれからの御活躍を御祈念申し上げまして、お礼の挨拶とさせていただきます。

本日は皆さんありがとうございました。

(続木副議長)

山岸議長、ありがとうございました。

○閉会

(続木副議長)

以上をもちまして、「『こんにちは県議会です』大学生との意見交換会」を終了いたします。

学生の皆様におかれましては、長時間にわたり熱心に御参加いただき、誠にありがとうございました。

これからもよろしくお願いいたします。